

# 五稜郭 所在地:函館市五稜郭町

設計は伊予大洲藩出身の蘭学者武田斐三郎(あやさぶろう)が担当。5つの稜が星型に突き出した城塞であったため五稜郭と名付けられ、明治維新まで外交問題の処理、居留民の保護と治安維持、貿易推進、北方警備など蝦夷地における幕府の本拠地として機能した。



第 2640 地区 和歌山東南ロータリークラブ

# WEEKLY NEWS 2009-2010

## 週報

通算 1909回  
40号



本年度地区バッジ(右側)

例会日: 水曜日  
第1・第2 夜間・18:30~  
第3・第4・第5 昼間・12:30~  
例会場: 華月殿 和歌山市屋形町 2-10  
事務局: 〒640-8215 和歌山市橋丁 23  
サイバーリンクス N-4ビル 2階  
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200  
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>  
E-mail a-rotary@coral.cypress.ne.jp  
会長 竹中昭美 幹事 中岡隆文  
クラブ会報委員長 和田達男 副委員長 籠田 弘

本日の例会  
5月19日(水)  
12:30~華月殿

ロータリーリンク\*: 四つのテスト  
行事: IDM発表④  
ロータリー情報・規定委員会

次回の例会  
5月26日(水)  
12:30~華月殿

行事: 職業紹介卓話  
山田(さ)会員・吉田会員  
和田(達)会員・和田(薫)会員

### 先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 奥村智子

#### 会長挨拶

竹中昭美会長



皆様こんばんは。風薫る五月、木々の芽が太陽の光をたっぷりあびて、青々と輝きはじめるすがすがしさを覚えます。

堀会員におかれましては退院そして藍綬褒章受賞と二重のお慶び誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。

さて、今期も本日の例会を入れまして残り7回となりました。第三コーナーを曲がりよいよ直線コースにさしかかりラストスパートです。各委員会の皆様、今期の活動方針、計画はスムーズ行われていますでしょうか?

大切なのは、かつてでもなく、これからでもなく、一呼吸、一呼吸の今であります。今一度活動計画のご確認をよろしくお願いたします。

さて、仕事をする職場環境には5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)が望ましいことは皆様すでにご存知のことと思います。小さなことができないれば大きな仕事はできない。松下幸之助氏は、いつも「誰もができる当たり前の小さなことを当たり前になり続けることが、伸びる人と伸びない人との差になってくる」とおっしゃっていたようですが、5Sも同じでしょう。職場の環境づくりに大切なこの5Sは、当たり前の小さなことかも知れません。しかし乱雑な職場から大きな仕事は生まれません。お手洗いが汚い職場、倉庫の在庫品の積み方が乱暴な会社、職場を出る時に机の上を整理できないような人は、口でいくら立派なことを言っても心は栄養失調であるといわれます。仕事のできる人の多い伸びる会社は、5Sの成果でしょうか、気負わず、謙虚で、気配りできる3Kの人間が多く揃って職場が明るいようです。

さて、皆様方の職場は片付いていますでしょうか? 一度、チェックしてみたいかがでしょうか

#### 幹事報告

中岡隆文幹事



- 1.和歌山青年会議所より『J.Cニュース』が届いています。回覧させていただきます。
- 2.定例理事会を、次回例会終了後に行います。理事役員の方は出席をお願いいたします。

#### ロータリー財団

平君・鯨さん、駒阪さん、先日はお世話になりました。ありがとうございます。

堀君・財団委員長様、いつもありがとうございます。

有本君・ワシントンDCでのアメリカ矯正歯科学会に参加しました。

#### 東南育英会

堀君・東南育英会委員長様、いつもありがとうございます。

#### 40周年記念BOX

竹中君・郷間会員、先日はありがとうございます。高齢者共々感謝いたします。

釜中君・6月5日・6日の親睦旅行、宜しくお願いたします。辻本君・地区協議会、ご苦勞様でした。

神谷君・本日、バリ島WCSの卓話をさせていただきます。

中谷(敬)君・先日はお世話になりました。

堀君・40周年委員長様、いつもありがとうございます。

保田君・先週、ホームクラブ欠席しました。すみません。



堀 昌弘会員  
無事、心臓手術も成功し例会に参加できました。皆様、またよろしくお願申し上げます。

#### ニコニコ箱

平 平治会計

竹中君・堀会員 退院そして藍綬表彰おめでとうございます。そして、皆様にお気遣いありがとうございます。稲葉君・ロータリーの友5月号 ページ12に載りました。渡辺さんありがとう。

堀君・無事、退院できました。また宜しくお願いたします。ご本人お誕生日お祝い・稲葉君、神谷君、坂口君、山本君。配偶者お誕生日お祝い・堀君。ご結婚記念日お祝い・吉田君、堀君。

#### 米山記念奨学

堀君・米山委員長様、いつもありがとうございます。



Happy Birthday

5月  
お誕生日の皆様  
おめでとうございます。



	ニコニコ	米山奨学金	ローリー財団	東南育英会	40周年記念BOX
累計	1,976,584	379,000	609,000	30,000	1,027,100

出席報告			出席者	出席率
会員総数	46名	5/12	35名	79.55%
出席免除会員	2名	4/21	38名	86.36%

「地区 WCS バリ島への貯水寄贈プログラムに参加して」

神谷尚孝会員



地区世界社会奉仕委員会企画の第4回目となる「WCS海外視察」が、インドネシア共和国バリ島（国際ロータリー3400地区）で、去る2010年3月10日に実施され、私がガバナー補佐として担当クラブであります和歌山RCがこの貯水槽プロジェクトに協力し、今年度6基の水槽を贈りましたので、この機会にバリの現状を見たいとの思いから参加しました。

3400地区と当地区協働の水プロジェクトは、2006～7年度に村上・現ガバナーが、ガバナー補佐を務めていた時に、地区WCS委員会の資料提供を基に、田辺・田辺東・田辺はまゆうの4RC（会員数約180名）が合同で40万円と、地区からの40万円を加えて、バリ・タマンRC宛に送金し完成後、120人余りの大使節団を、派遣したことから始まっています。（第1回は、2005年度にタイの小学校へ図書寄贈を中心に視察。）

バリ島は、1万8千余りの島々から成るインドネシア共和国の一つの州です。面積は、四国の三分の一ほどの小さな島で、島の東部に富士山に似た標高3142mの休火山「アグン山」があります。古来より人々の崇拜の対象となっています。1963年に大噴火が起き多くの犠牲者（死者1600人以上）を出しました。この時の噴煙で世界中の気温が低下する事にもなりました。

バリ島（約300万人）はヒンドゥー教徒が90%以上で、インドネシア全体（約3億人）ではイスラム教徒が約77%を占める他の島々とは趣が大きく異なっています。建物の高さ制限が15mで、椰子の木の高さ以下に抑えられています。経済は観光産業に依存しています。2002年10月にバリ島南部で爆弾テロ事件が発生し、その後インドネシアの都市部で自爆テロ事件が続いたので、今回の滞在ホテル、バリ・ハイアットホテルへ入館のたびに厳重な持ち物検査が行われていました。

バリ・タマンRCは6クラブからなる3400地区に属し、会員約30余名、内男性が4名とのこと。日本人会員が3名で、1名が日本領事館の主任領事だそうです。

アグン山の北東部裾野に位置するカラサム県のKubu地方は、島内でも最悪の荒れ地として有名で、水田はもとよりどんな作物も育たない地域であるのに人々は住み続けています。

生活用水を得るために、女性や子供が頭にバケツを乗せて谷へ汲みに行くために多くの時間を費やして困窮しているのを助けようと、この水槽を贈るプロジェクトをタマンRCが、2000～1年度会長＝万亀子・イスカンダールさん（九州八女市出身）が始めました。今年度末までに総計57基、その内当地区の13クラブから33基を贈呈しています。

比較的ゆとりのある農家は、自分の貯水槽を所有していますが、多くの貧しい農民のために4m×4m×5mの共同貯水槽を建設します。1基に付き建設材料費は約11万円で、利用する村人達の手で工事をしますので労賃は不要です。目に付きやすい外壁面には、1m程の大きなロータリーマークと、寄贈地区とクラブ名が浮き出して描かれています。一般道路からもよく見え、RCの良いPRとなっているようです。

この水槽に雨水を溜めるのですが、乾期には不足します。この時は政府から給水車が来て水を供給してくれますが、無料ではなく、給水車のガソリン代程度は支払わねばなりません。

最近になって高所に水源を発見、米国のロータリーの援助で、パイプラインで給水する方法でも設置しているそうです。貯水の衛生管理は保健所から入手する薬品を定時投入しているとのこと。

バリ到着の初日の日中は自由行動で、夜にバリ・タマンRC主催で歓迎晩餐会を催して下さいました。3400地区ガバナー トーマス・アクイナス氏も出席されて居り、3名の会員に、6回・3回・1回のポール ハリス フェローピン の授与が行われました。この3名以外もフェローピンを着けている会員を多く見かけ、彼女等の国際ロータリー財団への協励に感動しました。

翌3月10日、午前8時にホテルを班別に4台の小型バスに分乗して、デンパサールから北東へ180Kmのカラサム県に向かいました。2時間後に小休止、更に30分登ってある村の集会所に到着。

ここで、タマンRCが誇る「婦人検診車」と女性の健康教育の現場を是非見て欲しいと立ち寄ったのです。

タマンRCは1991年設立以来、最も相応しい奉仕プロジェクトについて3年間にわたる検討と意見調整の結果、バリ住民の70%が診療設備の不備な村で暮らしている。特に婦人病で手遅れとなる場合が多い。長年寒村の家族計画の指導に携わってきたメンバーが居る。等の事から、婦人検診に必要な器具を最小限度備えたバス（小型トラックを改造）を特注し、1997年に完成、運用を開始しました。自己資金は5,000米ドル、2710地区（広島）から45,000米ドルを支援してもらい、倍額保証制度（マッチング・グラント）で50,000米ドル、合計100,000米ドルのプロジェクトだったそうです。週3回の巡回検診や治療薬配布の全てを患者へ一切請求しないために、その資金の捻出が大変です。2710地区は、1千万円の基金を募ってバリで銀行定期預金にして、その利息を支援金としています。9800地区（オーストラリア）より、1,000豪ドルを24ヶ月続けて支援を受けた事もあるそうです。無論、独自のチャリティーゴルフ大会・バザー・コンサート等を開催して資金調達に努めています。

25分間にわたり以上の様な説明を聞き、村の婦人達への講義の様子を見学し、再びバスに乗車。ここから更に55分間、バスは上り下り蛇行の道を進み、和歌山RCが寄贈した貯水槽の一つの現場に到着。私は始めて見る貯水槽でしたが思っていたより頑丈に造られ、綺麗な仕上がりで、これより道路の向かい直ぐのところ小学校がありました。

校庭には既に生徒達が整列して待っていてくれました。地区が用意したお土産（ノート・鉛筆・折り紙）を手分けして、生徒達に手渡しました。生徒達は全員小綺麗なユニフォームを着ていて感心していましたら、最近政府から支給があったとの事。足下は殆どがゴム草履で、20%ぐらい？が運動靴を履いていました。

お土産のプレゼントが終わり、贈呈式になり、村上ガバナーの挨拶や村長さんのお礼の挨拶がありました。

小学校を後にして20分程進んだ所で、建設中の貯水槽現場に到着、行程は外壁のモルタル仕上げ塗りの最中で、5～6名の女性がセメント練りを、3名の男性が鍍仕上げの作業をしていました。ここでは参加者各人が持参したお土産を、村長さんに渡し分配を依頼しました。この水槽には、田辺・田辺東・田辺はまゆう・白浜・バリ タマンの名が浮き彫りされていました。

これで予定の視察は終了しましたので帰路に着きましたが、来た道ではバスが登坂出来ない坂があるので、迂回して帰ることになり、昼食も予定より随分遅れて、3時頃になり、ホテルへの帰着も5時を過ぎていました。